



学校だより「時習館」
令和4年7月21日(木)
笠間市立笠間小学校
第37号

夏休み前全校朝会 児童代表作文発表

7月20日(木)に夏休み前全校朝会を行いました。2人の児童から「7月までを振り返って」の作文発表がありました。2人とも立派に発表することができました。



3年 森さん

【題名】「9月になったらがんばりたいこと」

わたしの9月からの目ひょうは、運動が好きになることです。これまでは、なわとびはできていても走ることが苦手で、休み時間、外に出てもあまり走ることはありませんでした。

これから、運動が好きになるために、休み時間は友達と鬼ごっこで遊んだり、体育でせいっぱいがんばったり、家で走る練習をしたりするなど、少しでも走る機会をふやせたら、走ることが好きになるんじゃないかと思っています。

あと、ドッジボールやソフトボールの投げることも苦手なので、走ることに、投げることは特にたくさん練習ができるようにしたいと思っています。

9月になったら、たくさん運動をして、運動が好きになれるようにがんばりたいです。



5年 市村さん

【題名】「高学年としてのちょうせん」

5年生になって3か月以上がたちました。高学年の目標を「自分からちょうせんすること。」に決めました。今まで、私は実行委員や代表を決める時に、やってみたくとも、自分でりっこうほできずこうかいしていました。私は、人前で発表することが得意ではないので自分からりっこうほすることに勇気がいりました。

高学年になり、委員会が始まりました。委員会で代表を決める時、5年生の書記をやりたい人がいなくて、私はまよいました。書記は、話し合いで決まったこと、みんなの意見などを紙にまとめなくてはなりません。私は、むずかしいと思いあきらめかけていました。何分たっても決まらず、委員会担当の先生は「5年生はなしにしましょうか」とおっしゃっていました。私は、本当にそれでいいのかと思いました。そこで私は考え直しました。(今までちょうせんしようとおもっていても、自分でちょうせんできずこうかいしていました。書記は大変だけれどこのチャンスは一度しかない。)と思ったのです。私の心は、「このチャンスを逃したくない」に変わりました。そこで私は思い切って手を挙げました。最初、挙げたしゅんかんみんなはびっくりしていました。私は、やっぱりやらないほうがよかったかなと思いました。けれど、次第にみんなは、「ありがとう」という目で見てくださいました。私はとてもほっとしたし、手を挙げてよかったと思いました。書記は思っていたとおりに大変なこともあります。楽しみながら活動できています。

私は、この経験を通し、ちょうせんするのはよいことだと思いました。今、こうしてみなさんの前で発表していることも、私にとってちょうせんです。これからも自分でちょうせんし、たくさんの人の役に立ちたいと思います。